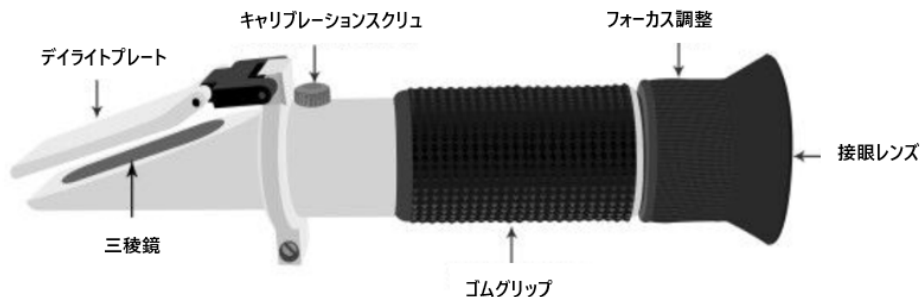


取扱説明書

REA-200ATC 自動車用不凍液屈折計

各部の名称



製品の仕様

型式	測定範囲			区分			精度			基準温度	ATC	重量	長さ
	エチレングリコール	プロピレングリコール	バッテリー液	エチレングリコール	プロピレングリコール	バッテリー液	エチレングリコール	プロピレングリコール	バッテリー液				
REA-200ATC	-60~0°C (66.6%~0%)	-50~0°C (62.4%~0%)	1.100 - 1.400kg/l	5°C	5°C	0.01kg / l	±5°C	±5°C	±0.01kg/l	20°C	10-30°C	91g	152mm

操作過程

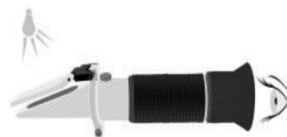
STEP 1

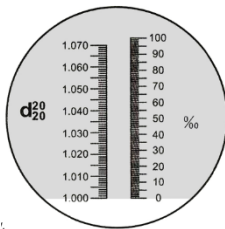
デイライトプレートを開き、プリズムにほこりがないことを確認し、プリズムに2~3滴の蒸留水をのせます。デイライトプレートを閉じて、水が気泡や濡らしてないところがないことを確認、水がプリズムの表面全体に広がるようにします。サンプルを約30秒間プリズムに残してからステップ2に進みます。(これにより、サンプルは屈折計の周囲温度に調整されます。)



STEP 2

屈折計の前端を光の方向に向け、接眼レンズを注視します。そうすると、中央下にある円形フィールドで目盛りが見えます。(目盛りははっきり見えるため、フォーカス調整をねじって調節が必要かもしれません) 上の部分は青い、下の部分は白いはずです。





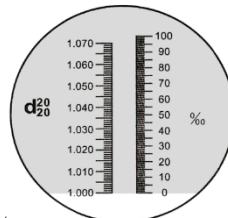
機械の中でこう見えるはず

(STEP2 & 3 のスケールはもほんになり、製品によって特定のスケールに参照してください)

STEP 3

接眼レンズを見て、図のように、スクロッドドライバーで目盛りスクリューを上の子青いフィールドと下の白いフィールドをゼロスケールで一致するまで調節してください。これで操作過程が完了します。

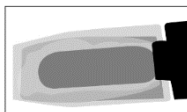
注：読み取り時の周囲温度が 20°C であることを確認してください(20°C/68°F)。部屋または環境の作業温度 (サンプルではありません) が 5°F 以上変化の場合は、精度を維持するために再校正をお勧めします。機器に自動温度補償システムが装備されている場合、機器の再校正を行うたびに、室内の周囲温度は必ず 20°C (68°F) にしてください。キャリブレーション一旦完了したら、許容範囲 (10°C~30°C) 内の周囲温度の変化は正確度に影響しないはずで



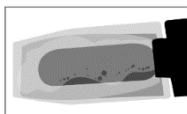
"0"に調整します

操作

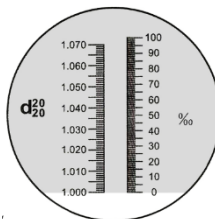
プリズムにサンプルを数滴つけ、デライトプレートを閉めます。サンプルが均一に分布し、気泡がプリズム上で除去されることを確認します。屈折計りの前端を光の方向に向けます。境界線が青と白の目盛りスケールを通る時、読み取ってください。濃度はそのままスケールに表示されています。



均等に分布したいサンプル



サンプルが均一に分布しておらず、気泡除去されていません



サンプルの読み取り

(参考になります。製品により、特定のスケールに参照してください。)

注意事項—メンテナンス

1. 確な測定は慎重なキャリブレーションが必要になります。正確な結果を得るためには、プリズムとサンプルが同じ温度で測定しなければなりません。
2. 濡らした作業環境や、機械を水に濡らすことを避けてください。機械が霧になると、水が本体に入り込んでしまうことになります。
3. この機器で研磨剤や腐食性化学薬品を測定しないでください。プリズムのコーティングに損傷する可能性があります。
4. 柔らかく湿った布を使用し、各測定の間には機器を洗ってください。プリズムを定期的に清掃しないと、測定結果が不正確になったり、プリズムのコーティングが損傷したりする可能性があります。
5. 本製品は光学機器であり、注意して取り扱ってください。そうしないと、光学部品と基本構造が損傷する可能性があります。丁寧に保管すると、本製品は長く使用することができます。